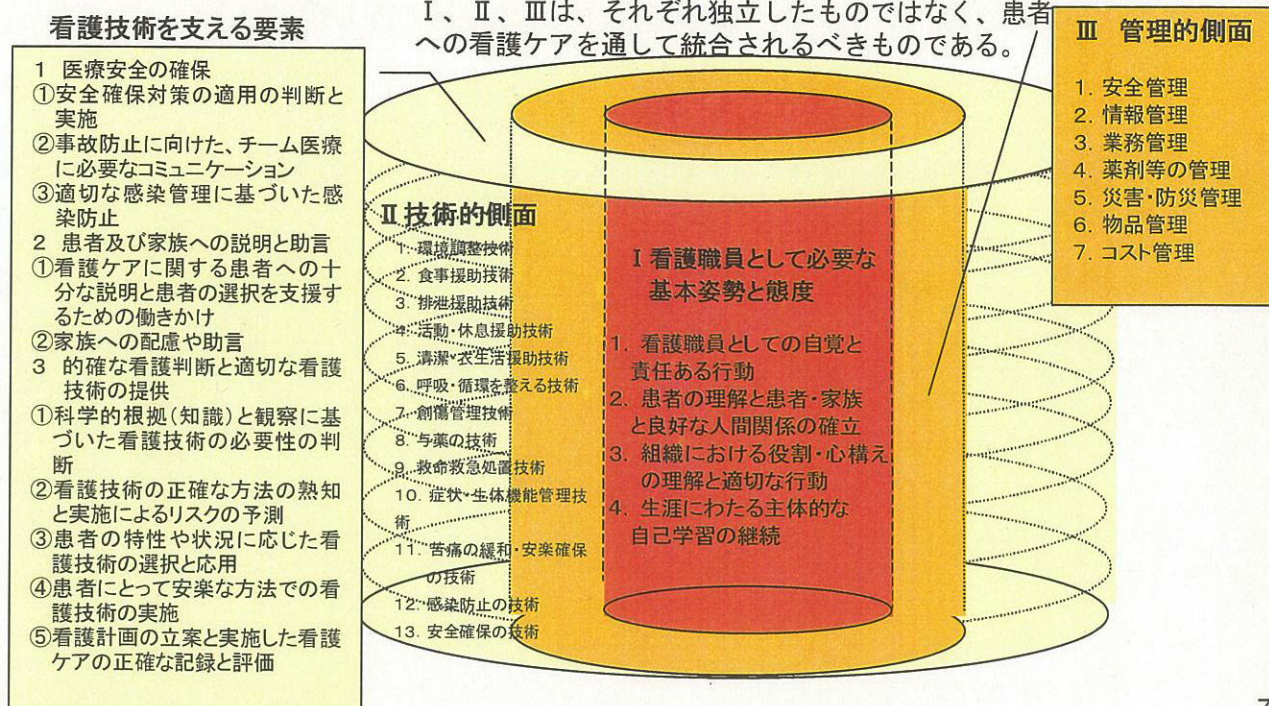


図1 臨床実践能力の構造

図1 臨床実践能力の構造



7

現状の問題(様々な施設・講習会を通して)

- 1・実習(基礎教育)
 - * 教育背景の違いによる問題
 - * 患者の選択と実習の了解が得られない
 - * 教員と臨床指導者の連携
 - * 臨床指導者の業務の増加
- 2・新人の指導者
 - * 臨床経験3年未満が7割を占める(未熟でも仕方がない)
 - * 指導者の教育・サポートが不十分
- 3・新人の教育方法
 - * 自施設にあった教育方法への戸惑い
 - * 報告書(厚労省)の理解が不十分
 - * 教育担当者の問題(専任がない)
 - * 十分な指導ができない
- 4・離職防止と精神的な支援
- 5・安全管理 新人のインシデント・アクシデントへの対応

8